

今後の市民意見収集について

5 / 8
第 1 回審議会



8 / 5
第 2 回審議会



10/28
第 3 回審議会

方向性をみんなで考える！

構想に込められた市民の想いを実現するための方向性

次期「基本計画」たたき台

まちの誇り
を育む

方向性① 「海と山に囲まれたみなとまち」を活かし

世界と繋がる2つの港「新たな時代の国際都市」へ

方向性② 「多彩な表情をみせるまち」を活かし

個性豊かで多様な地域の融合

「日常と非日常が交わり続ける都市」へ

方向性③ 「人間らしいあたたかみのあるまち」を活かし

ともに乗り越え育んだ絆

「いつまでも幸せを感じ、分かち合える都市」へ

次代に紡ぐ

基本姿勢 未来を見据えた都市の持続可能性を最重視

方向性を踏まえて

目指すべき都市像を考える！

目指すべき2035年の都市像

次期「基本計画」たたき台

自然も都会も、歴史も未来も、仕事も余暇も、安らぎも挑戦も・・・
～すべての望みに手が届くまち・神戸～

神戸空港や神戸港は、世界とつながる玄関口。そこには、絶えず人とモノが集まり、多様な文化と活気が行き交う。

都心には、おしゃれで心地よい雰囲気と、温かなもてなしの心が広がる。周辺には便利で快適な交通網が整い、新たな人々が次々と訪れ、活発な交流が生まれることで、まちの魅力はさらに増していく。

郊外へ足を伸ばせば、魅力的な駅を中心に、それぞれの理想のライフスタイルが形となり、ゆとりと上質な暮らしが広がる。

山から望めば、先人から受け継いだ自然豊かな農村や里山、古くからの景勝地が悠然と広がり、夜には世界に誇れる美しい夜景が街を幻想的に彩る。海に向かえば、港町の歴史と文化を感じながら、ジャズの音色に身をゆだね、贅沢な時間に包まれる。

ビジネスシーンでは、最先端のアイデアと熱意が交差し、新たな価値が次々と芽吹き、未来を切り拓く力がみなぎる。

街のいたるところで、異なる世代や多様な人々が集い、支え合い、こどもの笑顔と人の温もりがまちに安らぎをもたらす。

人々の暮らしは、たくましく築かれたまちの礎によって守られ、それぞれの環境を思いやる行動が、次世代の安心を生み出す。

そして、まちの誇りが、人々に根付く神戸を愛する心によって育まれ、次代に紡がれていく。

目的：たたき台の「10年後の神戸」に対する意見を収集する

○10年後の神戸

自然も都会も、歴史も未来も、仕事も余暇も、安らぎも挑戦も・・・

～すべての望みに手が届くまち・神戸～

神戸空港や神戸港は、世界とつながる玄関口。そこには、絶えず人とモノが集まり、多様な文化と活気が行き交う。

都心には、おしゃれで心地よい雰囲気と、温かなもてなしの心が広がる。周辺には便利で快適な交通網が整い、新たな人々が次々と訪れ、活発な交流が生まれることで、まちの魅力はさらに増していく。

郊外へ足を伸ばせば、魅力的な駅を中心に、それぞれの理想のライフスタイルが形となり、ゆとりと上質なくらしが広がる。

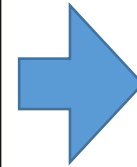
山から望めば、先人から受け継いだ自然豊かな農村や里山、古くからの景勝地が悠然と広がり、夜には世界に誇れる美しい夜景が街を幻想的に彩る。海に向かえば、港町の歴史と文化を感じながら、ジャズの音色に身をゆだね、贅沢な時間に包まれる。

ビジネスシーンでは、最先端のアイデアと熱意が交差し、新たな価値が次々と芽吹き、未来を切り拓く力がみなぎる。

街のいたるところで、異なる世代や多様な人々が集い、支え合い、こどもの笑顔と人の温もりがまちに安らぎをもたらす。

人々の暮らしは、たくましく築かれたまちの礎によって守られ、それぞれの環境を思いやる行動が、次世代の安心を生み出す。

そして、まちの誇りが、人々に根付く神戸を愛する心によって育まれ、次代に紡がれていく。



ワークショップで収集する意見

- ①共感度
- ②共感した言葉等
- ③もっとワクワクする
神戸の未来に必要な言葉等

ワークショップの流れ（案）

（１）説明（20～25分）

- ①総合基本計画とは
- ②これまでの市民意見収集の取り組みの紹介
- ③市民意見を反映した「3つの方向性」の説明

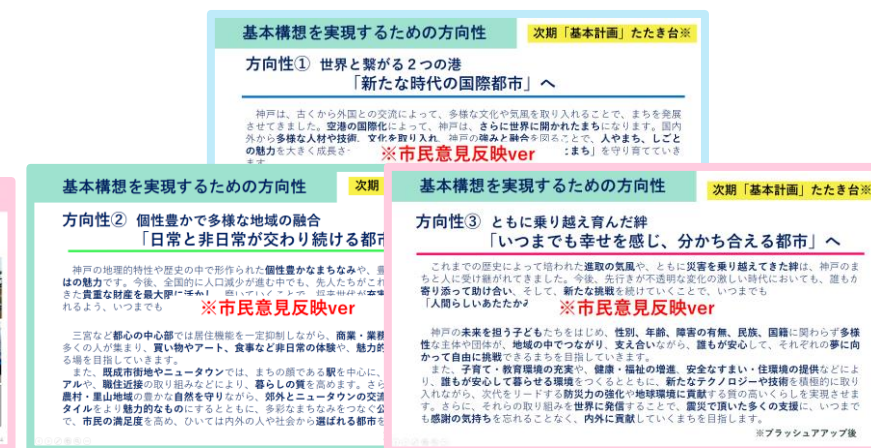
（参考）③の説明イメージ



基本構想説明動画の放映



動画の補足説明



「3つの方向性」の説明

ワークショップの流れ（案）

（２）ワーク（30～40分）

ワクワクする2035年の神戸の**魅力**を紹介するレポーターになろう

①個人ワーク

前半の説明（３つの方向性）の内容をもとに、
2035年の神戸の様子をレポートするための**台本**を書く

- ・ **シーン例**を示して、２～３つ選ぶ

〈シーン例〉

- ・ 都心は…
- ・ 郊外では…
- ・ 山は…海は…
- ・ 人々のくらしは…

- ・ 選んだシーンを紹介するレポート原稿を**数行で端的**にまとめる

※文章は誰にでも伝わるよう**平易な表現**を心がける

②グループワーク

グループ内で台本をもとにそれぞれがレポート（発表）しあい、
グループとしての未来像をイメージする

台本イメージ

（太字はフォーマット）

私は今、2035年の神戸にいます。

2035年の神戸はとても素敵なまちになっていて、

都心は、おしゃれで便利になっています。神戸
の外からもどんどん人が遊びに来ていて、…

ワークショップの流れ（案）

（２）ワーク（30～40分）

グループで想像した神戸の未来像と、
たたき台の「10年後の神戸」とを比較し、

- ①共感度
- ②共感した言葉等
- ③もっとワクワクする神戸の未来に必要な言葉等

について議論する。

○10年後の神戸

自然も都会も、歴史も未来も、仕事も余暇も、安らぎも挑戦も・・・
～すべての望みに手が届くまち・神戸～

神戸空港や神戸港は、世界とつながる玄関口。そこには、絶えず人とモノが集まり、
多様な文化と活気が行き交う。

都心には、おしゃれで心地よい雰囲気と、温かなもてなしの心が広がる。周辺には
便利で快適な交通網が整い、新たな人々が次々と訪れ、活発な交流が生まれることで、
まちの魅力はさらに増していく。

郊外へ足を伸ばせば、魅力的な駅を中心に、それぞれの理想のライフスタイルが形
となり、ゆとりと上質なくらしが広がる。

山から望めば、先人から受け継いだ自然豊かな農村や里山、古くからの景勝地が悠
然と広がり、夜には世界に誇れる美しい夜景が街を幻想的に彩る。海に向かえば、港
町の歴史と文化を感じながら、ジャズの音色に身をゆだね、贅沢な時間に包まれる。

ビジネスシーンでは、最先端のアイデアと熱意が交差し、新たな価値が次々と芽吹
き、未来を切り拓く力がみなぎる。

街のいたるところで、異なる世代や多様な人々が集い、支え合い、こどもの笑顔と
人の温もりがまちに安らぎをもたらす。

人々の暮らしは、たくましく築かれたまちの礎によって守られ、それぞれの環境を
思いやる行動が、次世代の安心を生み出す。

そして、まちの誇りが、人々に根付く神戸を受する心によって育まれ、次代に紡が
れていく。

ワークシート（２）

共感度： _____点（おおむね共感したら100を記入）

（ _____ 班）

配布資料

最も共感したキーワード・フレーズ

もっと **ワクワクする神戸の未来に**
必要なキーワード